

平成23年8月8日

各位

東京都中央区新川一丁目 17番 24号 サムシングホールディングス株式会社 代表取締役社長 前 俊守 (コード番号:1408)

問合せ先:

取締役管理本部長笠原篤

(電話番号: 03 - 5566 - 5555) (http://www.sthd.co.jp/)

平成23年12月期第2四半期累計期間の連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年12月期第2四半期累計期間(平成23年1月1日~平成23年6月30日)の連結及び個別業績予想、並びに通期(平成23年1月1日~平成23年12月31日)の連結業績予想について、平成23年2月14日付当社「平成22年12月期決算短信」にて公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 平成23年12月期 連結業績予想数値の修正

(1) 平成23年12月期 第2四半期累計期間(平成23年1月1日~平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成23年2月14日発表)	2,814	△32	△52	△59	△7, 494. 28
今回発表予想 (B)	2, 906	12	2	13	1, 660. 17
前減額(B-A)	92	44	54	72	_
増減率	3.3%	1			_

(注) 前連結会計年度は決算期の変更により、平成22年9月1日から平成22年12月31日までの4ヶ月間となっております。このため、参考情報として前期第2四半期実績については記載しておりません。

#### (2) 平成23年12月期 通期(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成23年2月14日発表)	6, 157	100	60	27	1, 747. 42
今回発表予想 (B)	7,000	180	150	94	5, 913. 44
前減額 (B-A)	843	80	90	67	
増減率	13. 7%	80.0%	150.0%	248. 1%	_

- (注) 1. 前連結会計年度は決算期の変更により、平成22年9月1日から平成22年12月31日までの $4 \gamma$ 月間となっております。このため、参考情報として前期実績については記載しておりません。
  - 2. 当社は、平成23年7月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しておりますので、 通期業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、分割後の株式数を基にして算出しております。

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的 に判断したものですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。 実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 連結業績予想数値の修正の理由

(1) 平成 23 年 12 月期 第 2 四半期累計期間(平成 23 年 1 月 1 日~平成 23 年 6 月 31 日)

平成23年3月の東日本大震災に起因する液状化の影響で沈下修正工事が増加し、売上高が当初の見込みより若干上昇する見通しです。売上高の上昇に伴い、売上総利益も当初計画より増加する見通しです。また諸経費の支出を抑制したため、販売費及び一般管理費が計画の範囲内に収まり、営業利益も44百万円増加し、赤字予想から黒字へ転化する見込みです。

経常利益につきましても、営業利益の増加に伴い 54 百万円増加し、赤字予想から黒字へ転化する見込みです。

(2) 平成23年12月期 通期(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

国内景気や戸建住宅の新設着工件数の見通しは不透明感を払拭しきれませんが、東日本大震災の復興需要が本格的に顕在化し、沈下修正工事や地盤調査が大幅に増加すると想定されます。従いまして地盤改良事業がけん引役となり、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回(平成23年2月14日)に発表した予想を上回る見通しであります。

# 3. 平成23年12月期 個別業績予想数値の修正

(1) 平成23年12月期 第2四半期累計期間(平成23年1月1日~平成23年6月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成23年2月14日発表)	148	△8	△7	△7	△945. 00
今回発表予想 (B)	148	△1	3	2	347. 51
前減額(B-A)	0	l	l	l	
増減率	0%	_	_	_	_

<sup>(</sup>注) 前事業年度は決算期の変更により、平成22年9月1日から平成22年12月31日までの4ヶ月間となっております。このため、参考情報として前期第2四半期実績については記載しておりません。

### 4. 個別業績予想数値の修正の理由

- (1) 平成23年12月期 第2四半期累計期間(平成23年1月1日~平成23年6月30日) 売上高はほぼ当初予想どおりですが、諸経費の支出を抑制した結果、販売費及び一般管理 費が期初計画よりも減少したため、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回(平成23年2 月14日)に発表した予想を上回る見込みであります。
- (2) 平成23年12月期 通期 (平成23年1月1日~平成23年12月31日) 通期業績予想につきましては、現時点において変更ございません。